

平成30年5月22日（火）

第1回臨時教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 平成30年5月22日(火) 午前9時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委 員 豊島 秀範
委 員 長谷川浩子 委 員 足立 俊弘
委 員 蒲田 知子
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 丸 智彦
総務課長 森田康宏
学校教育課長 榊原憲樹
学校教育課長補佐 岡田一男
学校教育課長補佐 鈴木伸樹
6. 欠席事務局職員 な し

午前9時00分開会

○倉部教育長 ただいまから平成30年第1回臨時教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。足立委員にお願いします。

議案第1号

○倉部教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進委員会設置要綱の制定について、事務局から説明をお願いします。榊原学校教育課長。

○榊原学校教育課長 はい、よろしくお願いいたします。本要綱は4月の定例教育委員会議にてお知らせしましたとおり、我孫子市の学校職員が生き生きとやりがいをもって子供に向き合える環境をつくる我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プランを策定することを目的とする推進委員会を7月より設置するためのものです。委嘱する委員につきましてはお配りしました資料のとおり予定をしています。

なお、推進委員会を設置するにあたり、委員報償にかかる補正予算を6月議会に提出するため、本日臨時教育委員会議を開催していただき、皆様にお諮りするものです。御審議の程よろしくお願いいたします。

それでは要綱の概要を説明します。議案の2ページ、3ページをご覧くださいませでしょうか。

まず、第1条につきましては、この委員会の目的を書いております。先ほど説明した推進プランを策定するという目的でございます。

また、第2条、任務ということとしまして、この委員会で策定しましたプランにつきまして、教育委員会の委員の皆様、最終的には御報告申し上げるといふことです。

第3条組織としましては15名ということで、学校職員につきましても教諭、管理職を含めた教諭、あと養護教諭、事務職員ということで、チーム学校を担う各職場のそれぞれの立場の方々に構成しています。また教育に深く関与する保護者の代表、小学校・中学校ということで、我P連の方から推薦していただいた2名の方が参加しています。

そして、第4条の委員長は、教育長を委員長とするというものでございます。

5条の任期につきましては、この7月から推進プランの策定をはじめ、2月を完了のめどとしております。任期はこの推進プランの策定の完了までということと考えております。

6条は会議について。7条の報償は、この小学校・中学校の保護者の方に発生するものです。1回3,500円の2人ということで、5回の会議で35,000円の報償を予定しています。

以上雑駁ですが概要となります。

○倉部教育長 以上で説明は終わりました。議案第1号について質疑を許しません。

○長谷川委員 今の説明の中で、2月をめどに推進プランを策定するということでしたが、その後議会をとおして、平成31年度がこのプランを推進されるということによろしいでしょうか。

○榊原学校教育課長 はい、そのとおりでございます。

○長谷川委員 ありがとうございます。

○豊島委員 この委員会の設置はすごくうれしいし、ありがたいなと思います。その上で、第1条のところに職員の心身の健康保持、それから誇りとやりがい、

学校職員の生活の質の向上を図る、あわせて教育活動の質の維持向上を図るといふことなんですけれども、難しい問題が沢山あり簡単には申し上げられないと思いますけれども、この推進委員会で、もちろん推進委員会が設立されて、そこで議論されることですから余談は許されないのですけれども、こういう委員会を立ち上げる時には、こういう点がやはり問題だから、こういう点を解決する必要がある。そういう必要に応じて設立されるもので、その必要性というのが第1条だと思うんです。これに対して、どのような方向を目指すのか、それは実際に議論してからということに違いないのですけれども、でもやはり下地として、どんな問題があつて、どういうふうな方向を目指すのかということを知る範囲で教えていただければと思います。

○榊原学校教育課長 現状としまして、これまでも市教委、そして学校現場の業務改革につきましては、これまでも取り組んでまいりましたが、昨年度の一番新しい実態調査の中でも週80時間以上の勤務者は、小学校で3.9パーセント、中学校で21.2パーセントという実態になっております。やはり教員が生き生きとやりがいをもって過ごすためには、この現状を少しでも改善していきたいという願いを持っております。それにつきまして、まず4点取り組む内容を予定しております。1点目は、やはり学校職員の意識を改革する。2点目が業務の改善と削減。3点目が学校を支える人材、人員体制。そして4点目が、具体的には部活動の関係。その4本の柱で委員会の審議を進めてまいりたいと考えております。

○豊島委員 ありがとうございます。その4つの方向で、だいたい問題というのは網羅していると思いますけれども、その中で、やはり教員の意識とか業務改善というのは、ある程度できるかなと思うんですけれども、3、4番目の人材の確保、人材の補充になってくると、そういう問題と部活動の問題3、4とかかわるところがあると思うんですけれども、その3と4というのは、やはり

なかなか思うようにいかないんじゃないかと思うんですけども、そのところやはり何とかする必要はあるし、そこはどういうふうに切り口を開いていくのかなと思うんですけども、なんとかできそうですか。

○丸教育総務部長 3つ目の人員体制の整備、これは本当に一番教職員の業務を軽くするには「人がやはり必要」、これは確かだと思います。やはり今ある予算の中で、どういう形で予算を使っていくかというのをもう一度考えてみたいなと思っております。やはり逼迫した財政の中で、ただ単に増員をしたいといっても、なかなか厳しいかなと思いますので、この業務は、あるいはこの予算に関しては多少落としても、例えばスクールサポートをもう少し増員するとか、そういった形を工夫していきたいと思っております。あと部活動は、これは本当に難しいです。子供のために一生懸命やるのが教員だというのが、やはり教員の魂だと思います。その魂をやはり「ワーク・ライフ・バランス」ではありませんけれども、そういったことを言い聞かせながらですね、少しずつ部活動の日数の軽減とか、そういったところを保護者にも理解を得ながらですね、進めていきたいと思っております。一生懸命やっている教員は本当に多いですから、そういう士気を落とさないような形で、この委員会ですら、我孫子市の全教職員に伝えていきたいなと思っております。

○豊島委員 はい、よろしくお願ひしたいと思っておりますけれども、今も全国とは言えないですけども、かなりいろいろな所で、いろいろな動きがあって、いろいろな活動の状況が出ていますけれども、お金のある市町村とか、お金のある区だとかはかなり進んでいる。だけれどもお金のないところはやりたくても出せないというのがあって、ない袖は振れないじゃないかと言われてたら終わりなんですけれども、それでもやはり、戦争直後は「でもしか先生」なんて言われてですね、もう教員の数が少ないから、とにかくやれる人は全部集めるといふ、そんな状況がありましたよ、今やはり、このなんとか働き方改革をやっ

いく上で、一つは時間の問題、そうしないと我々が欲しい教員がなかなか受けない。だって土日ないもん。5時や6時に帰れない、子供、生活を支えられないというのが本当にあってね、僕の女房も中学の教員でしたからクラブ活動のこともよくわかるんですけれども、ただ、そこのお金の問題とか、人材の問題とかってあるんですけれども、ちょっと、かなり大胆に切り込んでいって、そしてやってもらいたいなと思うんですけれども、退職した校長先生にお出ましただきたいと思うんですけれども、だめですかね。

○倉部教育長 それについては、私の方からお話をしたいと思いますが、今回我孫子市で、こういう組織を立ち上げたときに、どういうメンバーが必要かということについては別に検討させていただいて、外部委員がというお話も市の執行部からはあったんですけれども、やはり実効性をもたないと、この委員会をつくる意味がない。いろいろな理論についてとか、考え方の整備は既に国や県レベルでされていると思っています。それをいかに実効性をもって、一番最初に課長からお話がありましたけれども、一番肝心なのは教職員の意識改革、やりがいがあって生き甲斐を感じてやっている先生達に、その生き甲斐とかやりがいを失わせることなく、いわゆる働き方改革を進める。そのためには、実態をちゃんと聞いて、それについてアドバイスができるメンバーでなければならぬというので、今回は逆にいうと教職員の若手の先生、年配の先生、それからチーム学校といわれる養護の先生、事務の先生も加わって、学校全体で支えて考えていこうというメンバー構成にしていますので、なんとか豊島委員が希望される、そういう方向性を見出していきたいなと思っております。これは議論の中で、いろいろ深めていく必要があるかと思っておりますので、それをいかにプランを作成して、なおかつ、この委員会は実はプランを作成することが目的ですけれども、その後、安全衛生委員会、実効性のもった委員会にそれを引き継いで継続してみたいというふうに、プランを作るだけで終わらないとい

う考え方をもっていますので、それを順次やっていきながら積極性をもって、また、途中途中で教育委員の皆さんにも途中経過を報告しながらアドバイスをいただいてということで進めたいと思いますので、なんとかこういう方向性にもっていきたいなと思っています。

○倉部教育長 他にないでしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないものと認めます。質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進委員会設置要綱の制定について、議案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

挙手全員と認めます。よって、議案第1号は可決されました。

○倉部教育長 以上で平成30年第1回臨時育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午前9時14分閉会